

# 菊池学園 だより

第45号  
令和4年度第8号  
2022年  
10月7日



先生インタビュー

学校訪問・取材特集号

## 「成長ノートの可能性」

伊野南中学校 2年担任 畠山裕世先生



Q. 成長ノートを始める時に意識したことはありますか？

A. 「成長ノートは感想文じゃない、自分の成長と仲間の頑張りを認めるために書こう!」と生徒に伝えました。

Q. 成長ノートをやって良かったことはありますか？

A. クラスの成長につながっています。

例えば、ネガティブ発言を減らそうとしたり、授業中、仲間にかかる言葉掛けが温かく、みんなで学びあう教室へ向かっています。

教師が注意するより友達の声掛けに効果を感じます。

Q. 成長ノートを書かせるタイミングなど教えてください。

A. 週末の宿題にして、月曜日に教師のコメントを書いて生徒に返しています。ノート1ページ程度書ける生徒が増えてきました。教師のコメントは、生徒の「気づき」に対して、良いところを価値づけることを意識しています。

Q. 成長ノートの活用について教えてください。

A. 「テストってだるい」ある日の生徒のつぶやきから、「学ぶとは」をテーマにしました。

中学生になると抽象的な内容も考えて書くことができます。

全体に伝えたい内容は、本人の承諾を経て、個人が特定されないように、帰りの会や学級通信で紹介しています。

成長ノート

こんなテーマで書いています

### 2年生

- ・ 1年後に言われたい言葉、言われたくない言葉
- ・ みんなが成長したと思ったところ
- ・ 自分の変わりたいこと
- ・ 1か月で成長したこと
- ・ 3年になるまでに必要なこと
- ・ 1学期の自分を評価
- ・ 文化祭で一番輝いていた人
- ・ 自分の中で学ぶとは

### 他学年

- ・ PⅢCPIに向けて行動する3つのこと
- ・ 自分問答
- ・ あなたの考えるグラドルール  
態度+理由
- ・ あなたの考えるグラドルール  
言葉+理由
- ・ 「ことば」に対する感じ方の差を埋めるために



話し合いにオンラインで参加

畠山先生の実践から、生徒・学級・授業のゴールイメージを持ち、教師と子どもの関係づくりだけでなく、仲間と共に学びに向かう学級づくりに成長ノートを活用していることがわかります。

# 少人数による話し合いのある授業

2年生 社会科 単元名「中国四国地方」

めあて「なぜ馬路村の地域おこしが成功したのか資料をもとに説明できる」

課題 「〇〇を売って、馬路村は地域おこしに成功した」〇〇に入る言葉を考え、その理由を説明しよう

チャレンジ

対話の授業を目指して!

Q. ジグソー法の話し合いの効果はありますか？

A. 当初、生徒の反応はネガティブだったが、単元に1回程度実践を続けていると、この手法に慣れてきました。ジグソーで資料を組み合わせ、要点を出し合うことで課題に近づけることから、**グランドルールを意識した全員参加の話し合いが増えています。**

Q. 他の班の意見に質問が出ない時の工夫はありますか？

A. なかなか質問は出にくいですが、「**この班は違うというのはどれ?**」と介入したとき、生徒のつぶやきがありました。しっかり他の班の発表を聴いていて成長を実感しました。



伊野南中学校 2年  
副担任 上岡涼太先生



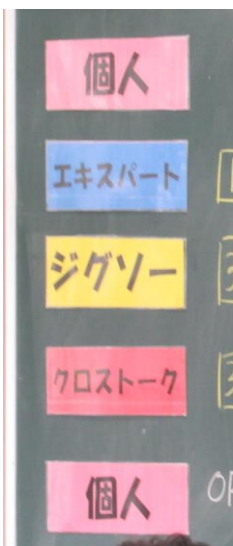
エキスパート活動から  
ジグソー活動へ 素早い移動



ジグソー 相手意識を持って説明



クロストークでもグランドルール  
を意識した聴き方



## 【ジグソー法】

こんな話し合いだよ♪

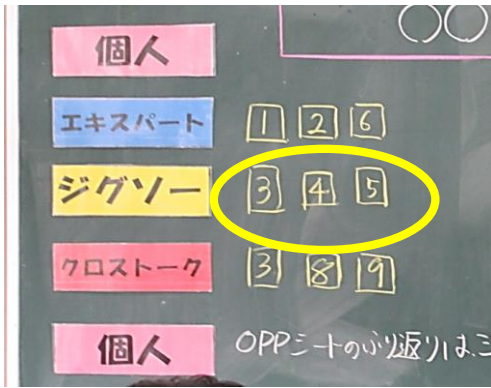


伊野南中イメージ  
キャラクター「みなみ」

個人 → エキスパート → ジグソー → クロストーク → 個人

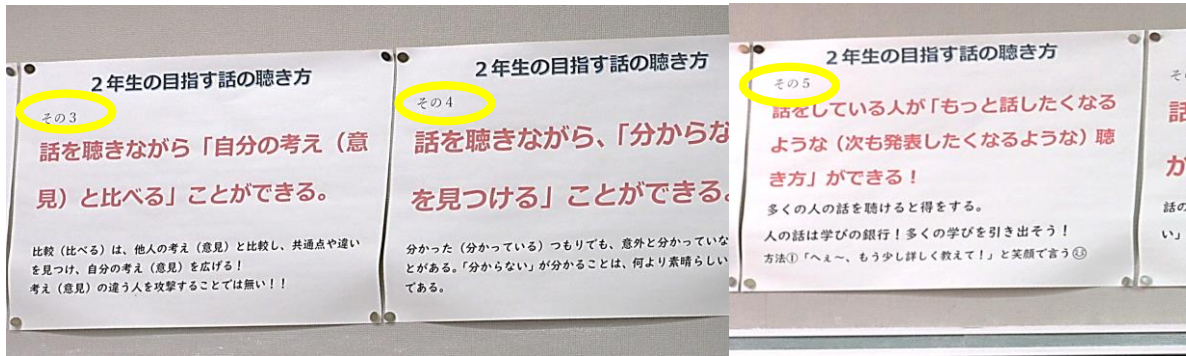
- ①個人：課題を考える→近くの人と相談
- ②エキスパート：各班でエキスパート資料を元に要点を出し合う
- ③ジグソー：班を再編成して、それぞれの持参した資料をもとに説明し合う
- ④クロストーク：全体で意見を出し合い、課題を解決するために話し合う
- ⑤個人：ワークシートに、クロストークでなるほどと思ったことを踏まえ、資料を引用しながら自分の意見をまとめる

# 少人数による話し合いのある授業の成立にむけて



Q. エキスパート、ジグソー、クロストークの横に書いている3つの数字の意味は何ですか？

A. グランドルールを元に、その1からその9まで「**目指す話の聴き方**」を示しています。  
今回は、これを意識して聴いてほしいと伝えました。



もっと話したくなるような聴き方



土居校長

國廣先生

上岡先生



比べながら聴く

夏期休業中、ジグソーについて校内研修を行い、道徳など他の教科での活用を検討しています。



伊野南中イメージキャラクター「コスモ」

伊野南中学校は、豊かな対話を育むためにグランドルールを土台として授業づくりや学級づくりに取り組まれています。目指す姿が「ほめポイント」となっていて、上岡先生は生徒の良いところを沢山価値づけていました。

また、「良い聞き手が、良い話し手を育てる」と言われますが、発表する生徒さんは、相手意識を感じる目線、体の向き、丁度いい声で、資料も引用しながら根拠を説明することができていました。

発表につまる仲間をさりげなく励まし、フォローしあう場面や、オンライン参加している仲間のために、端末を絶妙な位置に移動させる素敵な場面から、日頃の学級づくりの重要性を再認識しました。

(菊池学園担当)